

特42

464

礎

引

074913-000-1

特42-464

礎引

大和田 建樹/作

M37

CEL-0002





碇引

大和田建樹作

明治 12 28

内空

佛の御名もくふよるに佛の御名もくふよるに佛の御名もくふよるに

是より近國に者たる我

いも下院の不動尊に集ふと

りもどにやなむし

道行 春はなれむはなみあすみ

秋は月をさす川昔は
名はかゝし都をあらはし
すの入もやまふの
華はよのころの地も
着るもあらはれ地も
けりし一帯風雲の
子もどし何ぞの花の

草刈ら道の輝らば
の花のあり佛も
露なごりてなる
野の桔梗かや
名は多かるも
くろくろの雨
糸すも大悲け

やりて一切の魔軍を降伏しし同
 上
 三昧の業より三昧の業よりは怨敵
 を縛しつゝ國家擁護の法を
 可むよ火焰をあらけし煩悩
 此書よをくらげし法を
 しんじの法を
 けまりの法を
 母師奉

尊の御業歴ありなり
 此の法よりし地昔年佳天皇の
 御宇かよ平の持門といふあり
 帝にもししやう皇孫子乱を
 平將軍貞盛田原兼太秀純共
 討多し向し帝に教慮
 ともやましお都廣澤の寛朝

僧志子の高柱の神ミコト護寺ゴジにありて

弘法大師御作ミコトノミコトの明王ミョウクワンの御像ミコトノミゾトを奉

じて東ミチノヒにありてヤア勅ミコトノミコト説ミコトノミコトありし

が、ありてミコトノミコト信シテ心ココロはミコトノミコト上ミコトノミコト雅ミコトノミコト俊ミコトノミコトの津ツルあり

船フネ出イデ上ミコトノミコト總ミコトノミコトの國ミコトノミコト屋ミコトノミコト垂ミコトノミコトがミコトノミコト深ミコトノミコトみ

つミコトノミコトもミコトノミコト深ミコトノミコトみミコトノミコトかミコトノミコトたミコトノミコト女メ子コ法ハフ行ウチしミコトノミコト三ミコトノミコト

七ミコトノミコトのミコトノミコト獲ウケ摩マとミコトノミコトよミコトノミコトのミコトノミコト運ウケ石イシ浦ウラ伎キはミコトノミコト

新念シンネンとミコトノミコトしミコトノミコト好ミコトノミコトしミコトノミコトのミコトノミコト靈ミコトノミコト驗ミコトノミコトあり

とミコトノミコトれミコトノミコト忽ミコトノミコトちミコトノミコト子ミコトノミコトのミコトノミコト身ミコトノミコトをミコトノミコトとミコトノミコトすミコトノミコトとミコトノミコトも

新敵シンテクはミコトノミコトらミコトノミコトびミコトノミコト民タミ中ミコトノミコトにミコトノミコト國ミコトノミコト土ミコトノミコト女メ孺ニョにミコトノミコト

歸キぞミコトノミコトしミコトノミコト事コト中ミコトノミコト御ミコトノミコト事コトをミコトノミコトなミコトノミコトらミコトノミコト故ミコトノミコトをミコトノミコトや

然シカドモばミコトノミコト信シテ心ココロはミコトノミコト同ミコトノミコト急ミコトノミコトをミコトノミコト都ミコトノミコト子ミコトノミコトとミコトノミコトすミコトノミコト所ミコトノミコトあり

奇キ妙ミョウのミコトノミコト奏ソウ園エンをミコトノミコトなミコトノミコトらミコトノミコトしミコトノミコトとミコトノミコトもミコトノミコト其ミコトノミコト像ミコトノミコトをミコトノミコト起ミコトノミコト

しミコトノミコトまミコトノミコトらミコトノミコトんミコトノミコトじミコトノミコト童ドウ子シのミコトノミコト事コト若ニヤク者シヤ子シ似ニしミコトノミコト勅ミコトノミコト

かすぶらあざねぞ叡威のつと
はうぶら子伽藍と建まし尊
像を安きまもて威力を仰ぐ
海しと勅諭かおるまらる
河子流ちる溜まらる寺
を新勝寺と名けり今この所本
寺是あり^{ヨロギ地}まらるまらる

まらる河なる大船の碇とゆめ
あまたはなるれ
正は九十九里屋敷の仲ら
よ沈みし年ね海のみ
碇と一碇は^{シヤク}語度^{ガク}と^{地上}海
此中よりあはれ^誰のま
するにむ傳のつら

管弦を以て遊戯を興し
 子一笛鼓の吹奏中一笛鼓の
 妙なる調のありしよ此度鼓の
 聲を以て歌はらばし舞をまじ
 うとて舞の白や^{舞地}舞の舞
 舞すよと夜の夜舞は
 喜儀の舞は海を以て興し

地
 明王出現のし潮のさつ海
 原をなかり海底の底をあら
 えつ文のやと雲が
 引ぬるを
 するおふよ^上俄々天地鳴動と
 中井より^上は京御殿の前
 どの^上の^上不動明王出現
 明王出現のし潮のさつ海

めてん... 漸く... 海... 波... 昌し... 國家... 本尊の佛力なまよ。

跡見花談

板權
所有

明治三十六年十二月廿日印刷
 同 三十七年一月一日發行

著者 大和田建樹

東京市半込區早稲田
 南町十三番地

發行兼印刷者 大野市平

千葉縣印旛郡成田町
 三百七十一番地

東京市京橋區宗十郎町四番地

木版彫刻製本 柳ノ木三光堂

